

授業科目名	触診機能解剖学	授業形態	演習	配当学期	1年（前期）
担当教員名	廣岡 幸峰（アシスタント：池田卓矢、平塚将嗣、水谷貴佐）	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>触診機能解剖学では、機能解剖学について学ぶことに加え、理学療法評価・治療に必要な触診技術について学んでいく。 実技を主体とした授業となります。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能解剖学に関する単語帳テストに正解できる。 ・機能解剖学に基づいて骨の触診が正確に行える。 				
授業回数	授業内容				
第 1 回	機能解剖と触診について				
第 2 回	肩甲骨の触診				
第 3 回	胸骨・鎖骨の触診				
第 4 回	上腕骨の触診				
第 5 回	橈骨・尺骨の触診				
第 6 回	手根骨・手指骨の触診				
第 7 回	上肢の骨確認①				
第 8 回	上肢の骨確認②				
第 9 回	骨盤・脊柱の触診				
第 10 回	大腿骨の触診				
第 11 回	膝蓋骨、脛骨・腓骨（近位）の触診				
第 12 回	脛骨・腓骨（遠位）・足根骨Ⅰの触診				
第 13 回	足根骨Ⅱの触診				
第 14 回	下肢の骨確認①				
第 15 回	下肢の骨確認②				
評価方法	単語帳テストと触診実技テスト それぞれ60点以上で単位習得とする。				
教科書 参考図書	<p>運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢（メジカルビュー社）</p> <p>〔教科書〕 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹（メジカルビュー社）</p> <p>プロメテウス解剖学コアアトラス（医学書院）</p>				
履修上の 留意点	<p>実技が主体となるので、触診部位を露出しやすい格好で参加してください。</p> <p>身体へのトレースを行うので、ホワイトボードマーカーを2～3色、拭き取り用のアルコールシートを準備してください。</p>				
メッセージ	<p>身体構造の理解と触察の体得が必要なので積極的に練習を重ねていきましょう</p>				